

松川村立松川中学校



- (1) 学級数 13 学級
- (2) 児童・生徒数 242 名
- (3) 職員数 34 名
- (4) 学校紹介

松川村立松川中学校は、雄大な安曇野の自然に囲まれた村内唯一の中学校です。本校では教育理念「誠実たれ」のもと、「ともに学び 自己更新する」を学校目標に掲げ、生徒・保護者・地域住民など学校に関わる全ての人のウェルビーイングが育まれる学校づくりを目指しています。令和8年度の生徒会は『全笑 ～挨拶・清掃・合唱～』をテーマに掲げ、凡事徹底による規律ある楽しい学校生活や地域貢献活動に取り組んでいます。

(5) 日常的な情報機器の活用

本校では、全ての授業や生徒会活動において Chromebook 等の情報機器を展開しており、グランドデザインの授業研究の基盤としても「生徒の心に火をつける ICT 活用」を掲げて教育活動を行っています。

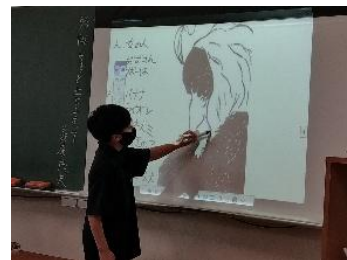
2 学年の生徒会活動では、学年自治の向上を目指した企



画を考え、Google Classroom を活用して積極的に情報発信を行っています。また、放送委員会では

生徒主体で2週間に1回ラジオを撮影し、生徒から届いた意見や質問に答える活動を実施しています。生徒自らが ICT 機器やメディアを工夫して使い、主体的な学校づくりを進めています。

国語の授業では、Google Classroom を活用した取り組みを行っています。教室の板書と同じ内容を手元の Chromebook で確認しながら、同時に直接書き込みもできる環境を整え、確実な理解へとつなげています。



英語の授業では、生成 AI を活用したアプリを採用しています。AI とテーマに沿って英語で会話を交わすだけでなく、AI が英作文の添削を行っ

たり、音読の正確さを評価したりと、アプリの利点を最大限に生かすことで、授業内における「個に応じた指導」の実現に役立てています。

(6) 課題等

GIGA スクール構想の進展に伴い、村内でも生成 AI などの情報技術を積極的に活用していこうとする先進的な姿勢が高まっています。しかしその一方で、授業での具体的な活用方法や指導力において教師間に個人差が出ていることが大きな課題となっています。また、日常の学習において生徒が安易に AI 頼みになってしまう現状や、それに伴う情報リテラシーの不足も散見されます。今後は、校内研修などを通じて教職員全体の ICT・AI 活用スキルを底上げし、どの授業でも一貫して効果的な活用ができる環境を整えることが急務です。同時に、生徒がデジタル社会の良き担い手として、ルールに縛られるだけでなく、自律的に安全かつ効果的に技術を使いこなせる態度やマナーを日々の学校生活の中で育んでいく必要があります。